

1 多様なアプローチ（きっかけづくり）による里地里山の再評価と協働による取組の進展

③竹林の急速な拡大が取組のきっかけとなった例

京都：ボランティア活動による集落周辺の竹林整備

綾部地区では、集落周辺の竹林が拡大し地域住民だけでは手入れが行き届かないことが課題となっており、NPO 法人里山ねっと・あやべの活動団体のひとつである森林ボランティアが地域住民からの要請を受けて竹林の伐採や竹炭づくりなどを継続して行っている。また、竹炭づくりのための常設の炭焼き釜が設置されたことや、同 NPO 法人の拠点施設となっている旧小学校校舎が宿泊研修施設に改修されたことなどにより、各地から大学等のボランティア団体が来訪し、竹林整備や竹炭づくりの体験を通じて里地里山について学ぶ場として活用されている。



大学生による竹炭づくり



ボランティアによって完成した炭窯



炭窯完成前の手づくりドラム缶炭窯